

柔道整復科

予防指導 4

対象	3年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	小西裕司			実務経験	有	職種	柔道整復師(接骨院にて勤務経験あり)				

授業概要

生活環境について学び、保健衛生行政機関の仕組みを理解します。

到達目標

予防指導は、疾病を予防し、寿命を延長し、身体的・精神的健康と能率の増進をはかる科学・技術であり、学ぶ内容としては環境衛生、感染症予防、健康教育、医療・看護サービスによる疾病の早期診断と悪化防止、衛生行政、医療制度および社会保障などを重視しながら進める。環境を整え、傷病を予防し、健康の保持増進をはかるという知識を習得することが到達目標である。

授業方法

教科書と最新の衛生統計を中心に授業を進めることが基本となる。特に疫学的統計では、国民の生活習慣がその結果を大きく左右することから、最新の動向を注意深く見守る必要がある。医療は日進月歩であり健康の維持・増進のために柔道整復師として必要な最新データの把握に努める。

成績評価方法

試験と課題を総合的に評価する。

履修上の注意

国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な応対ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

教科書教材

使用教科書「衛生学・公衆衛生学」、その項目ごとに必要な資料をプリントとして配付する。

回数	授業計画
第1回	産業保健②（産業医と職業病①）
第2回	産業保健③（職業病②と労働災害）
第3回	成人保健①（年齢3区分別人口と死因統計）

第4回	成人保健②（三大死因と生活習慣病）
第5回	高齢者保健（高齢者医療と介護保険）
第6回	精神保健①（精神保健福祉法）
第7回	精神保健②（精神疾患と入院方法）
第8回	産業保健、成人保健、高齢者保健、精神保健の各概説
第9回	地域保健と国際保健
第10回	衛生行政と保健医療の制度
第11回	医療の倫理と安全の確保
第12回	疫学①（疫学的統計の種類）
第13回	疫学②（疫学研究の方法）
第14回	疫学③（疫学研究の評価）
第15回	衛生学的な考え方に基づく予防指導の必要性について